

外部評価軽減要件確認票

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 事業所番号 | 2390700116      |
| 事業所名  | 認知症グループホームみなみやま |

【重点項目への取組状況】

|       |   |                   |
|-------|---|-------------------|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）<br>老人会の行事、コミュニティーセンターの祭り、区民祭り、小学校の運動会などの様々な地域の行事に、必要な場合は家族の協力を得て利用者の参加を支援している。<br>また、事業所が行う「ふれあい祭り」には地域の住民を招待したり、あやとり、傾聴ボランティアなど依頼したりして、利用者が施設外の人と触れ合う機会をできるだけ作っている。                           | 評価<br>○           |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）<br>会議は2か月ごとに開催され、民生委員、いきいき支援センター職員、利用者家族、特別養護老人ホーム施設長が参加している。以前は利用者家族の参加が少なかったが、参加しやすい工夫をすることにより、徐々に増えている。<br>出席者から出た意見は、会議の場で改善の方向を確認し、事業所のサービス向上に役立っている。                                   | 評価<br>○           |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：4）<br>名介研の委員として市の担当者と意見交換したり、施設長が会長をしている区の介護事業者連絡会を通して、担当者との意見交換をしたりしている。<br>また、医療保険の窓口と相談をしたり、認知症サポーター養成事業に関連して市の担当者と打合せをする等、市との交流は多く、良好な関係を保っている。  | 評価<br>○           |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）<br>家族向けの新聞が毎月発行され、施設での利用者の状況を報告している。<br>意見箱が設置され、自由に意見を言える環境となっている。受け取った意見は改善に繋げ、月1回発行する新聞に掲載したり、事業所内に掲示したりしている。<br>家族の意見は多くが、運営推進会議での状況報告、事故報告、名介研のユーザー評価に対しての物で、様々な視点からサービスの改善に役立っている。 | 評価<br>○           |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件<br>○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。<br>○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。<br>○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。   | 評価<br>○<br>○<br>○ |
| 総合評価  |   | ◎                 |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

| 外部評価項目                | 確認事項  |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい        | (例示)<br>① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。<br>② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3. 運営推進会議を活かした取組み     | (例示)<br>① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。<br>② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。  |
| 4. 市町村との連携            | (例示)<br>① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。<br>② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。  |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示)<br>① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。<br>② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。<br>③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。           |

【過去の軽減要件確認状況】

| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 総合評価 | —    | —    | —    | ×    | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ◎   |